

3-7 底質への影響の予測と評価

今回計画による潮流および水質に及ぼす影響は軽微であると考えられる。また、環境現況調査結果より有害物質等の溶出量は全ての項目で水底土砂に係る判定基準以下であった。

以上のことから、今回計画による潮流および水質の変化が、底質の攪乱および巻き上げ、堆積等による底質に与える影響は軽微であると考えられる。

3-8 地形および地質への影響の予測と評価

今回計画では、土地造成を伴うものの、重要な地形及び地質並びに自然海浜の直接改変はないこと、地形に影響を与えると考えられる潮流の予測結果より、今回計画による潮流への影響は沖側の新たな防波堤周辺にとどまることから、今回計画が地形および地質に与える影響は軽微であると考えられる。

3-9 生物への影響の予測と評価

3-9-1 動物

(1) 海生動物

今回計画地周辺に生息するプランクトン、魚卵・稚仔魚、底生生物等は、沿岸域に一般に見られる種である。

また、今回計画による潮流への影響は軽微であり、水質への影響も本港奥部において一部に水質への影響が認められるが、局地的な影響であることから、今回計画が海生動物に与える影響は軽微であると考えられる。

(2) 陸生動物

今回計画地周辺には、貴重な陸上動物の生息はみられない。

また、今回計画による大気質への影響は軽微であると予測されることなどから、今回計画が陸生動物に与える影響は軽微であると考えられる。

3-9-2 植物

(1) 海生植物

今回計画では、土地造成を伴うものの、海生植物の生育環境に影響を与えると考えられる潮流および水質の変化は沖側の新たな防波堤周辺に限られると考えられる。また、植物プランクトンや潮間帯植物(付着植物)についても日本海や沿岸域に広く普通に見られる種である。

したがって、今回計画が海生植物に与える影響は軽微であると考えられる。

(2) 陸生植物

今回計画により陸生植物の生育域を直接改変するものではないこと、陸生植物の生育環境に影響を与えると考えられる大気質の予測結果より、今回計画による大気質の変化は小さいと考えられることから、今回計画が陸生植物に与える影響は軽微であると考えられる。

3-9-3 生態系

現況調査結果に基づく酒田港周辺における地域を特徴づける海域生態系の重要種(上位種)に与える影響について予測および評価を行う。

海域及びその周辺陸地を営巣地、休息場および採餌場として利用している重要種(上位種)は、シロチドリ、コアジサシ、ハマシギ、チュウダイサギ、ミサゴ、ハヤブサ等が確認されている。営巣地として利用している種はコアジサシ、休息場として利用している種はシロチドリ、コアジサシ、ハマシギ、チュウダイサギ、採餌場として利用している種はシロチドリ、コアジサシ、ハマシギ、チュウダイサギ、ミサゴ、ハヤブサである。

(1) 営巣地として利用している種(コアジサシ)

営巣地として利用している種に影響を与えると考えられる大気質および水質への影響は小さく、餌となる海生動物に与える影響も軽微であると考えられる。また、現在の営巣地は、埋立て途中であり、一時的にコアジサシの繁殖適地である植生がまばらな砂地(裸地)となっているが、整備が完了すれば現在の状況とは異なってしまうため、コアジサシは繁殖適地を求めて他に移動すると考えられ、現況調査結果でも最上川上流に向かって飛翔する個体が確認されており、河川域にも別の繁殖地が存在すると考えられる。

したがって、今回計画が営巣地として利用している種に与える影響は軽微であると考えられる。

(2) 休息場として利用している種(シロチドリ、コアジサシ、ハマシギ、チュウダイサギ)

今回計画による土地造成はあるものの、休息場として利用している種に影響を与えると考えられる大気質および水質への影響は軽微であることから、休息場に与える影響は軽微であると考えられる。

したがって、今回計画が休息場として利用している種に与える影響は軽微であると考えられる。

(3) 採餌場として利用している種(シロチドリ、コアジサシ、ハマシギ、チュウダイサギ、ミサゴ、ハヤブサ)

今回計画による土地造成はあるものの、採餌場として利用している種に影響を与えると考えられる大気質および水質、並びに餌となる海生動物に与える影響は軽微であると考えられることから、今回計画が採餌場として利用している種に与える影響は軽微であると考えられる。

3-10 景観への影響の予測と評価

今回計画では土地造成を伴うものの、自然景観資源や都市景観への直接の改変するものではないことから、今回計画が景観に及ぼす影響は軽微であると考えられる。

3-11 人と自然との触れ合いの活動の場への影響の予測と評価

今回計画に伴う自然海浜・海水浴場等の消滅および減少は無いこと、また、今回計画による大気質、潮流、騒音、振動および水質への影響は軽微であると考えられることから、自然海浜・海水浴場等への影響はほとんどないものと考えられる。

したがって、今回計画が人と自然との触れ合いの活動の場へ及ぼす影響は軽微であると考えられる。

3-12 その他への影響の予測と評価

(1) 漁業

今回計画により漁業に影響を与えると考えられる潮流、水質、海生動物および海生植物に与える影響は軽微であると考えられることから、今回計画が漁業に与える影響は軽微であると考えられる。

(2) 文化財

今回計画による大気質、騒音および振動への影響は軽微であると考えられることから、文化財へ及ぼす影響は軽微であると考えられる。